

会報 ゆうほう

平成29年7月号

【昭寿園祭】開園記念行事



昭和48年6月に開園

それから年月を重ねること約半世紀、平成27年7月に当地に移転。早くも2年を経過する中、第44回の開園記念行事を開催しました。アトラクションの部が終わると、次は誕生会で行事食に満足頂けたようでした。

昭寿園祭行事食紹介



園児さんとの交流

「温泉はいろっか」の歌に合わせて、「ツル ツル ツル ツル」の楽句で園児さんがお顔へのボディタッチ。演出満点のプレゼントに大喜びでした。「ありがとう」「また遊ぼう」と最高の余韻を残して



【胡蝶蘭がふたたび】

振り返ると、移転準備で大わらわの平成27年6月下旬。

お祝いの豪華な胡蝶蘭が次から次へと届き始めました。

あまりの美しさに、しばし疲れが癒されことを思い出します。



玄関に飾った胡蝶蘭を長く楽しんだ8月終わりの頃、株と茎を支えていた支柱を外し、1株毎に鉢に移す手入れをして養生。今年の2月、新たな花芽が伸びた様子に「一幅の絵」のように感慨深いことでした。

花屋さんの蘭と比べると、自由闊達に伸びた枝に咲く姿は、いかにも生気に満ち溢れ、花の質感をより感じてしまいます。ご来園の折には、是非ご鑑賞頂ければ幸いです。



【インタビュー】

ユニット施設担当の理学療法士 上野先生に当園でのリハビリ等の現状をお聞きします。



Q1 先生のご経歴やリハビリについての想いを伺います。

琉球大学大学院人文社会科学研究科卒業して一般企業に就職。母が脳梗塞で入院したことが契機になり、宮崎リハビリテーション学院に入学、卒業後は医療リハビリの道に進みました。



Q2 施設でのリハビリの違いは？

医療機関では集中的にリハビリを行い、生活動作の自立性を高めようと「治療的リハビリ」を優先させます。当園においては、あくまでも「生活リハビリ」と位置づけし、生活行為自体が機能回復に繋がると考えます。

食事、トイレ等(一例)の生活の場面で、入居者様自身の力でテーブルや介助バーに掴まって立ち上がることに力点を置いて入居者様のやる気が出るように動機づけの声かけを行っています。



障害のため、動作が出来ないところを介助者が介助し身体機能の維持を図り、その為、機能訓練指導員だけがリハビリを行うのではなく、介護職員も日常生活のいろいろな介護場面において自立動作を引き出せるようリハビリ的要素を取り入れたアドバイスをし、より**専門的介護を目指しています**。

Q3 入居者のリハビリの進め方は？

入居する方の日常生活動作は様々です。入居者本人あるいはその家族の意向も踏まえた機能訓練計画書を作成し、介護職等のリハビリ役割を検討した計画書に基づいて、リハビリを行います。**3か月に1回程度見直しを行っています**。



Q4 入居者様、ご家族のリハビリに対する反応は

「昔のように歩きたい。」「家に帰りたいのでリハビリをしたい。」「腰等の痛みをどうにかして欲しい」と様々です。一昔とは違って拒否等なく、皆様それぞれ、訓練に対しては関心が高い状況にあります。介護保険が導入され、リハビリが制度的に確立されました。次期介護報酬改定(平成30年度)においては科学的リハビリ効果に対する評価についても議論されている中、制度の変化も留意しながら、今後も入居者の状況に応じた訓練を行いたいと思います。

当園居室から 眼下の田園風景



6月早場米が育ち、一面緑の光景織りなす風模様に又一興

旧昭寿園を活用して社会貢献

特別養護老人ホームを移転したことにより、旧昭寿園の建物の処分(解体・撤去)が必要ですが、宮崎県に新たな公益事業について相談をしてみました。この度、下記の事業の受理に至りました。

旧昭寿園3号館は増床して20年に満たず、新耐震基準の鉄筋コンクリート建てで強固な造りです。

この事業を始めることで、谷口理事長は「もしもの時、旧昭寿園の構造物が防波堤として機能し、津波から避難する時間を少しでも稼げる。」との思いから各関係機関に相談・陳情を重ねて参りました。

日本経済新聞記事より抜粋

東日本大震災津波襲来時「鉄筋コンクリート(RC)造建物は津波に強い」と実際の災害で初めて証明された。



事業内容は次のとおりです。

ご紹介があった場合は、速やかに対応したいと思います。宜しくお願い致します。



中古介護ベッド 無料貸し出し

★目的：社会福祉法人敬和会による社会貢献

★対象者：日南市在住で生活に困っている方、収入が少ない方
(介護ベッドが必要な要介護等状態の方)

★費用：利用料は無料 但し初回貸出時ベッド消毒に関わる費用2000円は自己負担とさせていただきます。

★利用期間：使用貸借契約書締結による

★申込：日南市社会福祉協議会、包括支援センター、居宅介護支援事業所

★中古介護ベッド借受までの流れ★



- まずは ～ 上記に申込み
- 次に ～ 申込事業所が受付
- 次に ～ 申込事業所から当法人へ紹介
- 次に ～ 当法人と利用者様との契約
- 当法人 ～ 介護ベッドを自宅まで搬送

